

2021年度関西女子学生バスケットボールリーグ戦 反省事項

【会場について】

会場確保が進まず、4・5部のリーグ戦再開が遅れてしまったこと。

→公営体育館の予約を取るのが難しく、年間予約が取れる体育館を探す。

初めて使用する体育館で会場準備がスムーズに行かなかった。

→事前打ち合わせの際、再度どこに何があるのか確実に把握しておく。

【2次リーグについて】

2部流通科学大学から、2次リーグ対戦について、質問があった。

以前にも同様の指摘があり、来年度から以下のようにすればと提案。

来年度も3部4部は同様の方式が予想される。

2次リーグ 1日目

A1-B3 A3-B1 A2-B2

2次リーグ 2日目

A1-B2 A2-B1 A3-B3

2次リーグ 3日目

A1-B1 A2-B3 A3-B2

本来、最終日は1位どうし、2位どうし、3位どうしが原則だが、
上記のようにすれば、1位は相手ブロックの3位2位1位の順に対戦。

2位は、2位1位3位の順に対戦する。

3位は、1位3位2位の順に対戦する。

また来年度の1部の対戦方法、日程の組み方、2部の対戦方法も検討。

2022年度リーグ戦終了後、1部を10校にするか、8校にするために入替戦をどうするか。



令和3年11月22日
理事会
競技部

【棄権対応について】

- ・甲南女子大学（4部）人数不足のため棄権
- ・常盤会学園大学（4部）クラブ活動禁止より、10月31日。11月6日・7日・14日を棄権最終日28日のみ参加
- ・大谷大学（5部）人数不足のため10月31日の試合を棄権11月6日参加

棄権するチームが直近で棄権すると連絡が来ることがあったため、タイムスケジュールを確定することが難しくなり今後は、棄権する大学に期日を設ける。